

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	在宅高齢者生活支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	65歳以上の方	目的	高齢者へ在宅サービスを提供し、安心して地域で生活することができるように支援する。また、介護保険の補完部分としてのサービスも提供する。			
事業概要	在宅サービス提供により、高齢者の地域における自立支援の一助とするほか、介護保険制度を補完するサービスも提供する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	01	04	大事業
						0006 在宅高齢者生活支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	6,069		2,016		2,635
	概算人件費	1,195		1,021		876
	トータルコスト	7,264		3,037		3,511
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.2人		876千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			876千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	避難行動要支援者登録者数（人）	900	900	898	914	1,050
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時医療情報シートについては、関係機関とスムーズな情報共有が図れている。 高齢者の地域における自立支援の一助となるよう、各種在宅サービスの更なる推進に努める。 					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	老人措置事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	65歳以上の方	目的	家庭の事情で在宅生活が困難な自立高齢者を養護老人ホームに、虐待等により入所手続きができない高齢者を特別養護老人ホームに措置する。			
事業概要	高齢者福祉の向上を図るため、社会福祉法人へ措置入所に伴う経費を支給する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	01	04	大事業
						0002 老人措置事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	3,059	3,039	3,039	3,039	3,158
	概算人件費	370	233	228	228	220
	トータルコスト	3,429	3,272	3,267	3,267	3,378
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R3概算人件費	正規職員	0.05人		228千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			228千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	-				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 家族との生活に何らかの理由があり入所しなければならない高齢者の生活環境の改善を図るための事業であり、今後も適切に対応していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画改訂事業（一般経費）			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	3年に1度の計画策定のための基礎調査実施のため。			
事業概要	二宮町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画の推進を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	01	04	大事業
						0008 一般経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
		直接事業費	345	2,354	0	1,347
		概算人件費	641	2,234	684	1,000
		トータルコスト	986	4,588	684	2,347
		国庫/県支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
R3概算人件費		正規職員	0.15人		684千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	人		千円	
		その他	人		千円	
		合計			684千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	65歳以上の要介護認定者の割合【戦略】（%）	17.6	15.6	16.7	17.1	17.4
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	・令和3～5年度の3年計画の1年目で、コロナ禍ではあるが高齢者施策の各種事業に取り組んでいる。 ・要介護（要支援を含む）認定率が高齢化・コロナ禍の影響で大きく伸びている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	訪問・通所・生活支援サービス事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民・事業者	目的	要支援及び事業対象者への訪問介護、通所介護等のサービスの提供。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業（訪問・通所・生活支援サービス）					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	01	01	大事業 0001 訪問・通所・生活支援サービス事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	54,282	56,622	62,560	63,704	
	概算人件費	304	273	396	350	
	トータルコスト	54,586	56,895	62,956	64,054	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.09人		396千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			396千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 介護予防訪問型サービス費（千円/年）	13,301	14,054	13,950	16,468	16,581
② 介護予防通所型サービス費（千円/年）	33,326	40,228	42,672	46,092	47,123

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・適切な事務執行を行っている。 ・サービス費は認定者数の増に伴い、増加傾向にある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護予防ケアマネジメント事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民・地域包括支援センター等	目的	要支援及び事業対象者のケアプランの作成。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント費。					

事業予算							
会計	0004	款項目	03	01	02	大事業 0001 介護予防ケアマネジメント事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		7,428		7,920	8,383	8,388
	概算人件費		154		203	426	430
	トータルコスト		7,582		8,123	8,809	8,818
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員			0.1人		426千円	/
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					426千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	介護予防サービス計画費（千円/年）	5,795	7,428	7,920	8,383	8,388
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・適切な事務執行を行っている。 ・高齢者人口や介護認定の要支援者数の増加に伴い増大している。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	高額介護予防サービス費相当支給事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	介護予防サービスの月上限額を超えた方について、高額介護予防サービス費を給付する。			
事業概要	介護サービス等の利用料が一定の負担を超えた場合に費用を返還するもの。					

事業予算									
会計	0004	款項目	03	01	03	大事業	0001	高額介護予防サービス費相当支給事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費	54		79		139		240	
	概算人件費	98		1,000		98		100	
	トータルコスト	152		1,079		237		340	
	国庫/県支出金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.02人		98千円		/			
	再任用職員	人		千円					
	会計年度任用職員	人		千円					
	その他	人		千円					
	合計			98千円					

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 高額介護予防サービス費（千円/年）	147	54	79	139	240
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	・適切な事務執行をお行っている。 ・介護給付に伴う軽減負担につながる事業であり、今後も対象者への適切な給付に努める。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	地域支援任意事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	●
事業対象	町民	目的	家族介護支援や成年後見制度の一助。			
事業概要	家族介護支援や成年後見制度普及などの事業にかかわる経費					

事業予算							
会計	0004	款項目	03	03	02	大事業	0001 地域支援任意事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額		R4決算見込
	直接事業費	4,625	4,197		4,462		8,067
	概算人件費	690	742		1,239		1,500
	トータルコスト	5,315	4,939		5,701		9,567
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	0	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.29人		1,239千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,239千円			

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① シルバー緊急通報システム設置数（件/年）	151	151	159	178	194
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	高齢化や核家族化に伴い、成年後見制度の周知やシルバー緊急通報システムの見直しを進めるため、利便性や分かりやすい利用料、実装内容等の検討を行った。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	地域包括支援センター運営事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	社会福祉協議会	目的	地域包括支援センターの管理運営を行う。			
事業概要	地域包括ケアシステム推進の中核を担う地域包括支援センターの運営。保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等が連携し、住みなれた地域で効果的な介護予防への取組や必要な支援が受けられるよう行うもの。					

事業予算									
会計	0004	款項目	03	03	01	大事業	0002	地域包括支援センター運営事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費		19,470		18,827		20,992		32,099
	概算人件費		351		615		1,164		1,200
	トータルコスト		19,821		19,442		22,156		33,299
	国庫/県支出金		0		0		0		0
	その他		0		0		0		0
R3概算人件費	正規職員				0.25人		1,164千円		/
	再任用職員				人		千円		
	会計年度任用職員				人		千円		
	その他				人		千円		
	合計						1,164千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	新規相談件数（件/年）	803	803	820	834	850
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	対象者数増に伴い業務量は年々増加傾向が続き、コロナ禍により更に厳しいものとなっている。会議や研修はwebの活用や人数制限を設け感染症対策に努め、人員を確保しながら地域包括ケアシステムの推進を図る。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	在宅医療・介護連携推進事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民（介護・医療・行政）	目的	高齢者が在宅で安心して暮らせるよう在宅医療と介護の連携を図る。			
事業概要	医療と介護の支援を同時に必要とする高齢者等の支援が効果的、効率的に行われるように、資源の整理や課題の把握、専門的な相談窓口の設置、住民への啓発活動等を行うもの。					

事業予算									
会計	0004	款項目	03	03	01	大事業	0003	在宅医療・介護連携推進事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費	3,725		3,681		3,673		3,885	
	概算人件費	468		564		564		580	
	トータルコスト	4,193		4,245		4,237		4,465	
	国庫/県支出金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.14人		564千円		/			
	再任用職員	人		千円					
	会計年度任用職員	人		千円					
	その他	人		千円					
	合計			564千円					

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見実績	R4見込
① 相談件数（件/年）	20	20	8	6	25
② 研修会参加者数（人）	111	111	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	80

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	・地域包括ケアシステムの推進を目指して、関係機関と課題の共有や連携を図り住民への普及啓発を進める。 ・医療・介護との連携においてはコロナ禍の影響が大きい。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	生活支援体制整備事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、職員	目的	地域包括ケアシステム推進の一環。			
事業概要	地域の課題を地域住民、地域組織、地域の事業所、社協、行政が協働して解決していくための体制作りを進め、少子高齢、人口減少社会でも安心して暮らしていける地域づくりを進めるもの。					

事業予算									
会計	0004	款項目	03	03	01	大事業	0004	生活支援体制整備事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費	3,265		3,254		3,618		4,071	
	概算人件費	755		536		984		1,000	
	トータルコスト	4,020		3,790		4,602		5,071	
	国庫/県支出金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員			0.23人		984千円		/	
	再任用職員			人		千円			
	会計年度任用職員			人		千円			
	その他			人		千円			
	合計					984千円			

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	第1層協議体開催数（回/年）	4	4	1	3	4
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

The scatter plot shows '満足度' (Satisfaction) on the y-axis (2.40 to 3.60) and '重要度' (Importance) on the x-axis (3.30 to 4.50). Initiative 1 is plotted at approximately (4.35, 2.89), which is in the '重点改善分野' (Focus Improvement Area) quadrant. Other quadrants are labeled: '維持分野' (Maintenance Area) top-left, '重点維持分野' (Focus Maintenance Area) top-right, and '改善分野' (Improvement Area) bottom-left.

分析						
分析の視点	高い ← 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	・地域福祉課題共有セミナーとして、認定ドライバー養成講座や担い手についての講演会に取り組んだ。 ・高齢者を支える地域の支え合いの体制づくり・支援を目指す。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	認知症総合支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、職員	目的	地域包括ケアシステム推進の一環。			
事業概要	今後ますます増加が懸念される認知症疾患関係患者に対し、早期発見、早期対応できる体制を整えるとともに、認知症の理解を広め、認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めるもの。					

事業予算							
会計	0004	款項目	03	03	01	大事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		2,398		2,222	3,099	3,245
	概算人件費		914		596	1,183	1,200
	トータルコスト		3,312		2,818	4,282	4,445
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.27人		1,183千円		/
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				1,183千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 認知症サポーター養成講座受講者数（人/年）【戦略】	109	109	35	552	200
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、養成講座やにのんカフェ・介護者のついでを開催した。 ・令和5年度のチームオレンジ立ち上げに向け、サポーター養成講座の実施に努めた。 					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	高齢者祝金事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	
事業対象	88歳、100歳	目的	高齢者の長寿を祝う。			
事業概要	高齢者の長寿を祝うための祝金などを支給する。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	01	04	大事業
			0004		高齢者祝金事業	
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額	
		R4決算見込				
	直接事業費	3,293	4,192		3,559	
	概算人件費	326	273		392	
	トータルコスト	3,619	4,465		3,951	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.1人		392千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			392千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 88歳祝金支給者数（人）	155	155	200	168	200
② 100歳祝金支給者数（人）	7	7	3	4	17

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生きがいづくりと社会参加の促進	3.99	3.01
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い ←————→ 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	□	□	□	■	□	
必然性	□	□	■	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	□	□	■	□	
成果・課題等	・コロナ禍により昨年度同様88歳は郵送し、100歳の対面希望者には町長より手渡した。 ・引き続き社会情勢を見極めながら、商品券の有効期限を記載していくことなどの事業見直し・検討を行う。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	高齢者団体育成経費			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	高齢者団体	目的	高齢者団体の育成・支援。			
事業概要	高齢者に対する生きがい活動を推進している団体に補助金を支出し、地域福祉の活性化を図る。					

事業予算									
会計	0004	款項目	03	01	04	大事業	0003	高齢者団体育成経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費	6,840		6,794		6,622		6,623	
	概算人件費	467		428		506		550	
	トータルコスト	7,307		7,222		7,128		7,173	
	国庫/県支出金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.1人		506千円		/			
	再任用職員	人		千円					
	会計年度任用職員	人		千円					
	その他	人		千円					
	合計			506千円					

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① シルバー人材センター会員数（人）	176	176	174	183	180
② ゆめクラブ会員数（人）	1,350	1,350	1,219	1,109	1,000

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生きがいづくりと社会参加の促進	3.99	3.01
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	会員の高齢化や高齢者雇用安定法による70歳雇用時代の到来・担い手不足により、会員数の減少が進む中に置いては「人生100年時代」に向け今後の団体のあり方について引き続き検討していく必要がある。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	高齢者福祉施設関係経費 ※			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	施設管理	目的	高齢者関係施設等の適切な維持管理。			
事業概要	町内各個所にある、高齢者関係福祉施設及び福祉ワークセンターの維持管理の経費。					

事業予算									
会計	0004	款項目	03	01	04	大事業	0005	高齢者福祉施設等関係経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費	2,704		2,394		5,827		12,285	
	概算人件費	377		531		752		850	
	トータルコスト	3,081		2,925		6,579		13,135	
	国庫/県支出金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.17人		752千円					
	再任用職員	人		千円					
	会計年度任用職員	人		千円					
	その他	人		千円					
	合計			752千円					

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	生きがいづくりと社会参加の促進	3.99	3.01
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・かんな作業所のエアコン更新工事を行った。
 ・福祉ワークセンターの建物・設備修繕及びゲートボール場の管理等は定期的に行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護予防普及啓発事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、職員	目的	介護予防普及啓発事業全般に係る事務経費等。自動車の維持経費も含む。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業。					

事業予算								
会計	0004	款項目	03	02	01	大事業	0001 介護予防普及啓発事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込
	直接事業費	269		65		187		355
	概算人件費	416		384		1,259		1,300
	トータルコスト	685		449		1,446		1,655
	国庫/県支出金	0		0		0		0
	その他	0		0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.27人		1,259千円				
	再任用職員	人		千円				
	会計年度任用職員	人		千円				
	その他	人		千円				
	合計			1,259千円				

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくりと介護予防の促進	4.10	3.05
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	・介護予防ボランティアの活動機会も減少したが、再開時に向けたスキルアップなどを行った。 ・通いの場休止等のため広報等で介護予防の普及啓発活動に努めた他、訪問用庁用車をリースに切替えた。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	地域介護予防活動支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、事業者	目的	地域の通いの場運営及び健康運動指導士派遣による介護予防の一助。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	02	01	大事業 0002 地域介護予防活動支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	3,653	3,253	2,158	5,321	
	概算人件費	1,956	1,593	1,962	1,800	
	トータルコスト	5,609	4,846	4,120	7,121	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.4人		1,962千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,962千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 地域の通いの場の参加者数（延べ）【戦略】	13,617 (7,000) ()はコロナ想定	13,617	(2,253)	(4,033)	(9,600)
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくりと介護予防の促進	4.10	3.05
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・コロナ禍に伴う通いの場の休止や会場の人数制限によりフレイル予防のための積極的な参加勧奨が難しい。 ・役員の変更や担い手不足により、今後の活動を継続していくための支援方法が課題である。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護保険居宅サービス支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	介護サービス利用者のうち、低所得者への軽減補助を行う。軽減をしたことにより、その補填を事業者に行う。			
事業概要	介護保険利用者の中で、低所得者への軽減補助を行い、サービスの適切な運用を補助する。					

事業予算						
会計	0001	款項目	03	01	04	大事業
			0001		介護保険居宅サービス支援事業	
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額	
		R4決算見込				
	直接事業費	10	0		44	
	概算人件費	295	157		295	
	トータルコスト	305	157		339	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.06人		295千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			295千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□
成果・課題等	対象者が居なくなったが、介護保険制度における低所得者支援対策として必要である。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	高齢者緊急時対応経費			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	65歳以上	目的	身寄りのない高齢者への緊急時の対応を図る。			
事業概要	特に身寄りのない高齢者の緊急時の対応にかかる経費。					

事業予算									
会計	0001	款項目	03	01	04	大事業	0007	高齢者緊急時対応経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費	0		0		0		456	
	概算人件費	207		235		50		300	
	トータルコスト	207		235		50		756	
	国庫/県支出金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.01人		50千円					
	再任用職員	人		千円					
	会計年度任用職員	人		千円					
	その他	人		千円					
	合計			50千円					

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	適切な業務遂行を行った結果として、執行には至らなかった。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	保険給付費事業 ※審査支払手数料支払事業を除く			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民、事業者	目的	要支援・要介護認定を受けた方に対してサービス提供を実施する。また、月上限を超えた方に対して給付する。			
事業概要	サービスに係る給付を行う。					

事業予算						
会計	0004	款項目	02	01	01	大事業 0001 介護サービス等諸費給付事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費	2,289,311	2,357,886		2,436,401	2,596,127
	概算人件費	2,225	1,118		4,291	4,300
	トータルコスト	2,291,536	2,359,004		2,440,692	2,600,427
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R3概算人件費	正規職員	0.9人		4,291千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,291千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 保険給付費（千円/年） ※手数料を除く	2,431,540	2,289,311	2,357,886	2,436,401	2,596,127
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	介護保険法・制度に則り、適正な運用及びサービスの給付が図れる。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護認定調査等事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	介護認定に伴う調査の実施すると共に医師意見書を取得する。			
事業概要	介護保険認定に関する事前調査の経費					

事業予算							
会計	0004	款項目	01	03	02	大事業 0001 介護認定調査等事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		13,795		12,850	15,352	16,650
	概算人件費		9,613		10,798	9,162	10,500
	トータルコスト		23,408		23,648	24,514	27,150
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.85人		2,094千円		/
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		4人		7,068千円		
	その他		人		千円		
	合計				9,162千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 認定者数(人/年)	1,616	1,543	1,680	1,726	1,783
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	□	□	■	□	
時代即応性	□	□	□	□	■	
持続可能性	□	□	□	□	■	
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険法・制度に則り、適正な運用及びサービス提供が図れる。 高齢化や特例措置によるコロナ延長者が多く、調査件数が増大している。 					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護認定審査会運営事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	毎週金曜日に審査会を開催し、介護申請をしたものに対し、介護度を決定する。			
事業概要	介護保険認定審査に係る経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	03	01	大事業 0001 介護認定審査会運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	5,593	5,277	5,473	5,863	
	概算人件費	4,557	1,218	3,315	3,700	
	トータルコスト	10,150	6,495	8,788	9,563	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	1.81人		3,315千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,315千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 認定者数(人/年)	1,616	1,543	1,680	1,726	1,783
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・介護保険法・制度に則り、適正な運用及びサービスの提供を図るため実施する必要がある。 ・介護認定審査会の人材及び審査会開催日数の確保が必須。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護保険料賦課徴収事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	介護保険料の賦課を行い、納付書等を発送する。また、滞納者には督促状等を発送する。			
事業概要	保険料の徴収に関する経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	02	01	大事業 0001 介護保険料賦課徴収事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	1,548		1,082		1,293
	概算人件費	3,678		3,047		3,002
	トータルコスト	5,226		4,129		4,295
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.02人		3,002千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,002千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 徴収率（現年課税分：％）	99.6	99.6	99.7	99.6	99.6
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	介護保険事業を推進していくために必要である。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護保険運営協議会等事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	町民、委員	目的	介護保険運営協議会等を開催し、二宮町の介護保険事業について協議する。			
事業概要	介護保険運営協議会委員に係る経費。					

事業予算									
会計	0004	款項目	01	05	01	大事業	0001	介護保険運営協議会等事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込	
	直接事業費		223			130		0	273
	概算人件費		1,041			837		612	1,100
	トータルコスト		1,264			967		612	1,373
	国庫/県支出金		0			0		0	0
	その他		0			0		0	0
R3概算人件費	正規職員				0.12	人		612	千円
	再任用職員					人			千円
	会計年度任用職員					人			千円
	その他					人			千円
	合計							612	千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 開催数（回/年）	2	2	4	2	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	・コロナ禍により、会議は書面開催。 ・介護保険事業を推進していくために必要である。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護保険運営事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民、職員	目的	介護保険事業全般に係る事務経費等。職員の旅費も含む。			
事業概要	介護保険運営に関する事業経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	01	01	大事業 0001 介護保険運営事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費	3,240	5,742		4,531	3,315
	概算人件費	1,725	1,194		1,009	1,200
	トータルコスト	4,965	6,936		5,540	4,515
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R3概算人件費	正規職員	0.33人		1,009千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,009千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

The scatter plot shows '満足度' (Satisfaction) on the y-axis (2.40 to 3.60) and '重要度' (Importance) on the x-axis (3.30 to 4.50). A horizontal red line is at 3.00 and a vertical red line is at 4.10. The plot is divided into four quadrants: 維持分野 (top-left), 重点維持分野 (top-right), 改善分野 (bottom-left), and 重点改善分野 (bottom-right). A blue dot labeled '1' is located in the 重点改善分野 at approximately (4.36, 2.89).

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	介護保険事業を推進していくために必要である。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	介護保険趣旨普及事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	介護保険制度のパンフレット等を購入し、窓口で制度の説明に利用したり、年齢到達時に送付することにより、趣旨普及に努める。			
事業概要	介護保険の制度普及を図る。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	04	01	大事業 0001 介護保険趣旨普及事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
	直接事業費	397	366		418	486
	概算人件費	376	161		95	100
	トータルコスト	773	527		513	586
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 3 概算人件費	正規職員	0.03 人		95 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			95 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 第1号被保険者数（人/年）	9,690	9,779	9,878	9,892	9,817
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	介護保険事業を推進していくために必要である。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			